

トチノキ開花観察会 ～モチモチの木に出会ってみませんか～



認定NPO法人 びわ湖トラスト

実施日 : 2018年6月2日(土)
 後援 : 大津市教育委員会、巨木と水源の郷をまもる会
 協賛 : 平和堂財団
 参加者 : 20組 49名(大人:26名・子供:23名)
 スタッフ : トラスト1名・ガイド(補助)8名

この日、雨の影響は全くなく空は晴れ渡っていました。今回の申込は過去最高の人数で、バスでの希望者が定員オーバーしてしまいました。慌てて現地集合をお願いした5組ほどの方は皆快く了承してくださり、前日に体調を崩されたなどの理由でのキャンセルで、参加者は56名から49名となりました。

バスは朝の8時にJR大津駅を出発。途中JRおごと温泉駅に寄ってからいきものふれあいセンター(こぶしの郷)へ向かいます。

バスが着くと、皆が揃うまで各々近辺を散策して待っていただきました。子供は池が気に入った様子で、トノサマガエルに引き付けられる子も。どうにか誰も池にはまることなく出発できました。

見学前に青木先生から、山を歩く際の注意事項がありました。熊出没の心配はなく、マダニやヒル、マムシ、ハチ、そしてシカ除けの柵は電気が通っていることもあるので注意するように、ということでした。

また、それぞれの生物への対処方法についても説明がありました。マムシやハチについては、くれぐれも自分から刺激しないよう、と釘を刺しておられました。

今回見学するのは平良のトチノキ。片道40分の道のりですが、道は途中までは軽トラが通れるほどの広さ。傾斜も他のコースに比べればなだらかで、距離はあるものの、比較的歩きやすいコースです。数日前の雨の影響はなく、晴れていてカラっとし多感で、暑くても不快ではない湿度でした。

道中一番気になったのはヒル。休憩の度に皆が『ヒルチェック』しているのは多分周りから見たら異様な光景だったことでしょう。

事前に下見していただいたガイドの方から、

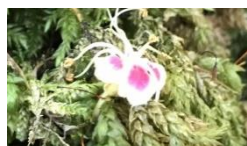


「ヒルが出るので、長靴で行きます。」
と聞いていたので、登山前には全員が虫よけスプレーで足回りをガード。しかしヒルは今までとは比べ物にならないくらい
の出現率で、ムシなどが苦手な子供からは「取って、取って！！」という悲鳴が上がることも。青木先生から教えてもらっていた方法を実践。すぐに吸い付こうとするヒルは、つかむのではなく丸めるよう手をこすり合わせてから落とすと簡単にできました。



右上の写真は、長靴からヒルが這い上がってくるところです。ヒルは思っている以上に素早く、熱や二酸化炭素を感知して、尺取虫のように進んであっという間に30センチくらい登ります。ガイドの方の中には、長靴とパンツの境目に養生テープやガムテープで塞いでいる方もいらっしゃいました。道中にヒルが多いのは、シカが原因のようです。シカによる弊害は他にもあります。シカが増えすぎると、シカがおいしくないと思う植物ばかり増え、今までの植物の植生が変わってしまうのです。

青木先生から話を聞きながらさらに歩きます。目的のトチノキが近づいてきた時、先生から、「下を見て歩くように。」という指示が出ました。先生のOKが出て見上げるとその迫力はかなりのもので、しばらくそのまま観察。残念ながら花の時期は終わっていましたが、巨木からは神々しさすら感じられました。



時期が終わり、落ちた花。



土砂崩れを防ぐ
どっしりとした根。



幹の太さも体感しました。本当は皆で手をつないで太さを実感してもらおうと思ったのですが、幹回りの地面の傾斜が激しく、少々難しかったので今回はあきらめました。

花から実になるのはどれくらいなのか、なぜ全部の花が実にならないのか（生理落下）、実の沢山出来る年とそうでない年があるということ、トチノキは別名『ナナヨウシュ』と言い、葉は小葉が集まり、この木の場合なら、手の平のような形の集まりで1枚とみるなど、知らないことを沢山説明していただきました。



観察後は3班に分かれて帰ります。今回は初挑戦の『ドラム缶釜で焼くピザ』です。ピザの生地とソースは前日に巨木と水源の郷をまもる会の方達が手作りで用意してくださいました。それぞれの生地にはピザソースを塗ったものはこちらで用意したトッピング、

- ・ソーセージ
- ・トマト
- ・ナス
- ・ピーマン
- ・チーズ

さら各々の持ち物でお願いしたトッピングをのせます。コーンやキノコ、ソーセージやおつまみ用サラミ、薄いお餅など、色々なオリジナルトッピングがありました。

トッピングが終わればいよいよ焼きます。釜は2つありましたが、一度に焼けるピザの枚数が少ないので、最初と最後に食べた方の時間差がかなりありました。大人数で一気に食べるのには向いていないかもしれませんが、焼き上がりを待って、熱々を食べるのはとてもおいしく感じました。

参加者の方も材料の配布などを積極的に手伝ってください、青木先生も大きな釜の焼き方を担当してくださいました。

各々でシートを敷いてピザを食べます。熱いので子供は持つのが大変そうでしたが、さわやかな風が吹く天気の良い青空の下で、おいしそうにほおばっていました。小さいかな、と思っていたサイズでしたが、思っていた以上にお腹が一杯になりました。



トチ餅も焼きました。これを作るためにあく抜きをしておいしく食べるには大変な時間と労力かかるそうです。お餅のトッピングは手作りあんこ・沖縄産黒砂糖・きび砂糖・トチのはちみつ等からトッピングを選び、時にはそのまま、または全部載せにして味わいました。ピザが足りなかった方もこれでおなかパンパンになったのではないのでしょうか？



食後、子供たちは自由に周辺を探索。先生に質問したり、時にはうっかり池に入りそうになりながら、それぞれの時間を楽しみました。

最後はこのキャンプ場の持ち主松原さんと一緒に記念撮影。今回も無事解散となり、各々バスや車で帰路につきました。

毎回も子供も楽しみながら学べるプログラムを考えてくださるガイドの方々、そして援助くださった平和堂財団に感謝いたします。本当にありがとうございました。

(文責 トラスト事務局)

